

厚木の裏山だけど鋸齒のヤセ尾根を持つ山 大山三峰

実施日 2015年11月22日(日)
 天候 曇り
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、小村井好枝、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、瀧澤きよの、石附恵理子、宮崎敏男 計12名
 費用 小田急1,000円(新宿起算)
 〇(本厚木⇒煤ヶ谷/広沢寺温泉入口⇒本厚木)840円 計1,840円
 タイム 本厚木(8:40〇)煤ヶ谷(9:15~20)物見峠分岐(10:42~52)三峰山(12:48~13:25)不動尻(14:55~15:05)広沢寺温泉入口BS(16:07~16)本厚木駅(17:00)

晩秋の雰囲気たっぷりの静かな山歩きを満喫できた山行だった。

日常生活の利用客に混じって山ヤの団体(我々)が煤ヶ谷BSで下車、川を渡って左に、僅かで物見峠への導標に従って右方へ進む。



導標に導かれて山道になるが、このところの雨でしっとり気味の道だ、登山者はあまり多くない

ようにも見える道である。それでも丹沢、導標も整備され道迷いの心配は少なそうだ。

まだらの黄葉で秋らしさはそれなりだが、至って平凡な登りを行く。高さも増すと鮮やかな紅モミジも現れ、「オウ! 良い山だねえ」、ということになる。

物見峠への分岐までノンストップで歩く。この先は峠経由ではなく稜線へ一気に登る尾根道を登る。所々厚木方面の視界が開け、街から江ノ島辺りまでの眺望も得られ曇り空でも十分に楽しい。700mも越してくると色付きも良くなり、また葉を落とした木々も多くなり辺りは落葉にも覆われるようになって晩秋から初冬の雰囲気も。物見峠からの



稜線に出ると、それまでの単調なハイキングから変化のある山歩きへと変わっていく。『経験者向きです』を引き返す勇気などを、親切?な注意看板も設置されている。やがて崩落で削り取られた



尾根となった。箇所も現れてくる。大きなガレからは高度感も眺めも高い。更に階段状、梯子段と変化する道になる。北峰を過ぎて鎖場

を下り梯子を登り栈道を通過して、三峰山まで100mの案内坂を見て小さく登降をすると三峰山頂に出る。樹木に覆われた狭い頂である。

やれやれ、やっと昼食になる。今日も差し入れ様々が有難い。風もなく寒さも感じない、快適なランチだ。



さて、後半の歩きはヤセ尾根の続きからだ。クサリ・ハンゴの連続で七沢山(南峰)を通過、ベンチのあるV字の分岐で左方、不動尻への下山路に入る。見事な木々や山腹の色付きをながめつつ、急な下りで一気に高度を下げて行く。

クサリの助けが必要な小さな岩場もあるなかなかの下山路だ。沢沿いに小滝なども眺めながら下って行く。ダメ押しのように現れる栈道や滑り易い岩場を鎖で下り、不動



尻の広場に降り立って緊張感を味わう道も終了になった。

此処からは林道になった道を辿り、山ノ神トンネルを抜け、広沢寺温泉、更に広沢寺温泉入口BSで全ての歩程が完了した。例によって、直ぐに帰りたくない組は本厚木の反省会?で盛り上がりながらそれぞれの家路になった。

丹沢としては変化のある行程で、山慣れたハイカー向きの低山で季節も相まって楽しめた山行だった。

今回も多くの人に参加いただき感謝です。お疲れ様でした。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・伊藤 久雄)